

平成23・24・25年度の年度計画において具体的に掲げられた「成果目標」及び「成果実績」について

アウトカム	23年度			24年度			25年度		
	成果目標 A	成果実績 B	達成度B/A	成果目標 A	成果実績 B	達成度B/A	成果目標 A	成果実績 B	達成度B/A
歴史公文書等の一般の利用に供するための適切な措置 (歴史公文書等の受入れから目標期間内に一般の利用に供すること)	1年以内	1年以内 (5.6万冊)	100.0%	1年以内	1年以内 (2.3万冊)	100.0%	1年以内	1年以内 (2.7万冊)	100.0%
デジタルアーカイブの推進 (マイクロフィルム等からのデジタル化)	130万コマ	134万コマ	103.1%	170万コマ	173万コマ	101.8%	180万コマ	186万コマ	103.1%
(ポジフィルムのデジタル化)	300コマ	304コマ	101.3%	300コマ	305コマ	101.7%	200点	207点	103.5%
アジ歴データベースの構築 (前年度に受入れた資料の一年以内の公開)	193万画像	194万画像	100.5%	160万画像	160万画像	100.0%	139万画像	139万画像	100.0%

単位当たりコストと積算根拠	所要額 X	成果実績 Y	単位当たり コスト=X/Y	所要額 X	成果実績 Y	単位当たり コスト=X/Y	所要額 X	成果実績 Y	単位当たり コスト=X/Y
利用関係コスト計算	2,969万円	5.6万冊	525円	1,966万円	※3.6万冊	542円	1,988万円	※3.8万冊	530円
マイクロフィルム等からのデジタル化関係コスト計算	9,263万円	134万コマ	69円	14,095万円	173万コマ	82円	17,212万円	186万コマ	93円
ポジフィルムのデジタル化関係コスト計算	494万円	304コマ	16,234円	809万円	305コマ	※26,508円	473万円	207点	※22,826円
アジ歴データベース構築関係コスト計算	4,761万円	194万画像	25円	4,720万円	160万画像	29円	4,909万円	139万画像	35円

・利用関係所要額は、当該作業に従事した非常勤・パート職員にかかる人件費を計上

・マイクロフィルム及びポジフィルム等からのデジタル化にかかる所要額は、当該作業に係る外部委託費を計上

・アジ歴データベース構築関係所要額は、情報提供用目録等作成に係る外部委託費を計上

※平成24年度の利用関係コスト計算における成果実績数には、平成24年10月以降に受け入れ、年度内に目録を作成した法人文書及び裁判文書13,367冊を合算している。  
 ※平成24年度のポジフィルムのデジタル化関係コスト計算において、前年度と比して単位当たりコストが割高となったのは、対象資料中に大型の資料が多く含まれ、スキャン・接合に係る作業工数が増加したためである。  
 ※平成25年度の利用関係コスト計算における成果実績数には、平成25年9～10、12月以降に受け入れ、年度内に目録を作成した法人文書及び裁判文書10,554冊を合算している。  
 ※平成25年度のマイクロフィルム等からのデジタル化関係コスト計算において、前年度と比して単位当たりコストが割高となったのは、コマ数を増加させるため撮影場所を館内だけでなく館外においても実施したことにより運搬費などの経費が生じたためである。